

【 Kトラワールドシリーズ 2022 】 + 【 GTCPTールワゴン選手権 2022 】

昨年からの変更点を赤色、シーズン途中での変更点・追記は青色で記載しています。(カレンダー除く)

1) 開催概要

	開催場所	開催日	参加受付期間	競技形式	ドリフト練習走行枠 お試し走行枠
第1戦	オートランド作手 (愛知県新城市)	5月15日(日)	4月25日(月) ~5月9日(月)	サーキットトライアル 形式	なし
第2戦	モーターランド鈴鹿 (三重県鈴鹿市)	7月3日(日)	6月13日(月) ~6月27日(月)	サーキットトライアル 形式	有り ※1
第3戦	スパ西浦モーターパーク (愛知県蒲郡市)	9月18日(日)	8月22日(月) ~9月5日(月)	スプリントレース 形式 ※2	なし
第4戦	幸田サーキット yrp 桐山 (愛知県額田郡幸田町)	11月20日(日)	10月24日(月) ~11月7日(月)	サーキットトライアル 形式	なし

・各戦でシリーズポイントが付き、4戦のうち3戦分のポイントの有効ポイントとしてシリーズ順位を付けます。(Kトラワールド/トルワゴンとも)

※1 軽トラ/軽バン/トルワゴンでドリフト練習をしたい人のための「ドリフト練習枠」と、お試しで少しでも走ってみたい人のための「お試し走行枠」を第2戦のみに設けます。(ドリフト練習枠走行車両も計測器を積み1本だけタイム計測する走行枠を設けますので、そこでタイムアタックして該当クラスの順位を付けます。お試し走行枠は計測器を積みますが章典外となります。)

※2 軽トラ/軽バン/トルワゴンの、NA/ターボまとめたの走行となります。決勝では周回遅れが出ることや速度差のある車が混走することをご承知の上でエントリー下さい。

2) 主催者、大会事務局、申込先

株式会社GT CARプロデュース「軽トラ走行会事務局」
〒438-0086 静岡県磐田市見付1684-23
TEL : 0538-37-6677 FAX : 0538-37-6678

【振込先】 静岡銀行 磐田支店
普通 1202381
カ)ジーティーカープロデュース

3) 申込方法

- ・別紙申込用紙に必要事項を記入し、申込期間内に事務局まで郵送のこと。
- ・申込用紙郵送後、3日以内に右記の銀行口座まで参加費を振り込むこと。
- ・申込用紙と、参加費が揃った時点で正式受付となる。
- ・正式受付順で受け付けを行い、定員に達した時点で受付終了とする。定員オーバーとなった場合はキャンセル待ちとなる。
- ・キャンセルについては受理書発送までであれば、事務手数料1,000円を差し引いた差額を返金する。
受理書発送後からイベント前日までは半額を返金する。イベント当日のキャンセルは返金できない。

4) 募集台数、走行時間、参加費用など

日程	開催場所	募集台数	走行時間・本数等	参加費用 (税込み)	備考
第1戦 5/15 (日)	オートランド作手 (愛知県新城市)	軽トラワールドシリーズ トールワゴン選手権 } 全 30台	約15分×4本	13,000円	
第2戦 7/3 (日)	モーターランド鈴鹿 (三重県鈴鹿市)	軽トラワールドシリーズ トールワゴン選手権 } 全 30台	約15分×4本	13,000円 ※1 リピート割あり	グリップとドリフトの両方 に参加する人はセット割 引きあり ※2
		ドリフト練習枠 8台	約10分×6本	10,000円 ※1 リピート割あり	
		お試し走行枠 ※4 8台	約10分×2本	3,000円 ※3	
第3戦 9/18 (日)	スパ西浦 モーターパーク (愛知県蒲郡市)	軽トラワールドシリーズ トールワゴン選手権 } 全 30台	フリー走行、 予選、 決勝(8周予定)	23,000円 ※1 リピート割あり	スプリントレース形式 全クラス混走
第4戦 11/20 (日)	幸田サーキット yrp 桐山 (愛知県額田郡幸田町)	軽トラワールドシリーズ トールワゴン選手権 } 全 30台	約15分×4本	13,000円 ※1 リピート割あり	

全戦、全クラスとも弁当付きです。

※1 第2戦以降については、それ以前に1戦でも参加したことがある人はリピート割りで▲1,000円安くなります。(以前に何度参加していても割引は一律▲1,000円です)

※2 第2戦でグリップとドリフトの両方にエントリーする人は、セット割りで参加費用が20,000円(税込み、弁当は一つ)となります。もし第1戦に参加していた場合はリピート割りを併用して、参加費用は19,000円(税込み、弁当は一つ)となります。

※3 お試し走行枠の参加にはリピート割りが効きませんが、お試し走行枠に参加した人が第3戦以降に参加する場合はリピート割りが使えます。

※4 お試し走行枠は、タイム計測器は付きませんが章典外となります。

5) クラス分け／参加できる車両の形状・車高

【軽トラワールドシリーズ】

- ・参加できる車両の形状・車高は下表の通りで、7つのクラスに分けてクラスごとに表彰を行いません。
(オープンクラスは表彰がありません)
- ・ドリフト参加車両も計測器を搭載して走行し、その車両が該当するクラスの表彰対象となります。
- ・クラスごとに「改造範囲」や「使用出来るタイヤ」が異なるので、後述の車両規則を確認して下さい。

	車両形状	吸気方式	クラス		参加できる 車両の車高	備考
			略称	クラス名称		
①	軽トラ	NA	NL	NA ライトチューン	車高 160cm 以上 (ミゼットⅡ含む)	
②			NT	NA チューンド		
③			NS	NA スーパーチューンド		
④		ターボ	TT	ターボ チューンド		
⑤			TS	ターボ スーパーチューンド		
⑥	軽バン	ターボ	VTT	バン・ワゴン ターボ チューンド	車高 170cm 以上	
⑦	軽ワゴン		VTS	バン・ワゴン ターボ スーパーチューンド		
⑧	上記の いずれか	ターボ or NA	OP	オープン	上記の車高を満たす 車両	

車高はカタログの数値(ノーマルの状態)で判断します。

※1 オープンクラスは軽トラ・軽バン、NA・ターボを問わず。改造が激しい車両は全てこのクラスとなります。

【GTCPTールワゴン選手権】

- ・参加できる車両は以下の条件を満たす軽自動車です。
「1998年(平成10年)10月以降に製造された新安全衝突基準に適合した軽自動車(通称「新規格軽自動車」)で、新車時のカタログデータの全高が155cm以上の車両(車種の例:ワゴンR、ムーヴ、ネイキッド、プレオ、EKワゴン、トッポBJ、などなど)」
※ただしGT CARプロデュース主催イベントの特例としてホンダN-ONE(1545mm)の参加を認める。現行型も同様
※車高の基準を満たしたEV車(アイミーブ)も参戦可能
- ・クラス設定はNA車は「N3クラス」と「EVクラス」の二つのみ、ターボ車は「TNクラス」と「TRクラス」の二つのみとなります。これらのクラスに該当しない車両は「オープンクラス」(章典対象外)となります。
クラスによる「改造範囲」や「使用できるタイヤ」は、別紙の「GTCPTールワゴン選手権 車両規則」をご確認下さい。

6) シリーズポイント

各戦のクラス順位によって、以下のポイントが付きます。

順位	ポイント	順位	ポイント	順位	ポイント
1 位	20 点	5 位	8 点	9 位	2 点
2 位	15 点	6 位	6 点	10 位	1 点
3 位	12 点	7 位	4 点		
4 位	10 点	8 位	3 点		

- ・全 4 戦のうち、3 戦のポイント合計してシリーズポイントとしシリーズ順位が決まります。(4 戦とも参加した人は高い得点 3 戦分の合計となります)
- ・**オープンクラスもシリーズポイントが付きます。**
- ・軽トラドリフト走行会参加車両も計測器を積んでドリフトをしながらタイムを計測し、タイムトライアルの該当するクラスの順位が付きます。
注1) シリーズ途中でクラス変更した場合は、ポイントは継続されません。シーズン途中で車両を変更しても、同じクラスであればポイントは継続されます。
注2) 合計ポイントの同じ人が二人いた場合は、上位ポイントの多い順になります。上位ポイント回数が同じ場合は、最終戦時に獲得したポイントの高い順になります。
- ・お試し走行枠はポイントが付きません。

7) 一般規則

「軽トラワールドシリーズ」の一般規則について以下に記します。

※ 「トールワゴン選手権」の規則については、別紙『GTCPTールワゴン選手権2022 特別規則書』をご覧ください。

項目	① NL ② NT ④ TT ⑥ VTT ⑦ VTS	③NS ⑤ TS	⑧ OP
車検・ナンバープレートの有無	車検付きであること	車検・ナンバープレートの有無は 問わない	同左
使用ガソリン	ガソリンスタンドで 販売されているもの	同左	自由
NOS	使用禁止	同左	使用OK

8)使用出来るタイヤ ○:使用可能 ×:使用できない

タイヤのランク クラス	① NL	② NT	③ NS	⑤ TS	⑧ OP
	④ TT	⑥ VWT			
⑦ VTS					
Sタイヤ		×		×	○
Aランクタイヤ (別表1参照)		×		○	○
Bランクタイヤ (別表1参照)		×		○	○
上記のいずれでもないタイヤ		○		○	○

別表1 「Sタイヤ、Aランクタイヤ(ハイグリップラジアル)、Bランク(セカンドラジアル上位タイヤ)と定義するタイヤ銘柄一覧」

赤字は 2022 年度の変更点

メーカー	Sタイヤ	Aランクタイヤ (ハイグリップタイヤ)	Bランクタイヤ (セカンドラジアル上位タイヤ)
ブリヂストン (POTENZA)	RE-11A 2.0、RE-11S、RE55S、RE540S、 RE520S	RE-71RS、RE-71R、RE11-A、RE-11、 RE-01R、RE-01	Adrenarin RE003/RE004、REGNO ※Playzは対象外とする
ヨコハマゴム (ADVAN)	A050、A049、A048、A039、A038、A032、A021	AD08R、AD08、AD07、AD06、A052	ADVAN FLEVA、HF TypeD ※S.Drive は対象外とする
ダンロップ (FORMULA-R、DIREZZA)	03G、β 02、RSV98、02G、D01J、D98J、D93J	Z3、Z2、Z1 (いずれもスタースペックを含む)	※DZ102は対象外とする
トーヨー (PROXES)	R888R、R888、R881、08R、FM9R	R1R	TR1
ファルケン	該当無し	RT615K、RT615、RT215	該当無し
ミシュラン	該当無し	該当無し	PILOT PRECEDA PP2
GOOD YEAR	該当無し	イーグル RS SPORTS	該当無し
クムホ	V710	V700	V720
ハンコック	Z221	R-S3	該当無し
フェデラル	595RS-RR	595RS-R	該当無し
ATR	該当無し	K SPORT	該当無し
ナンカン	AR-1	NS-2R	該当無し
ヴィッツアー	該当無し	TEMPESTA ENZO	該当無し

ネクセン	該当無し	該当無し	該当無し
ゼスティノ	該当無し	07R*、07A、Z-REX	該当無し
シバタイヤ	該当無し	コンフォート/スポーツ/ハイグリップ	該当無し
マキシス	該当無し	VR-1 Victra	該当無し

- ・上記タイヤ以外でも主催者が判断した場合は使用禁止となる。
- ・新発売のタイヤで判断が付かない場合は、必ず主催者まで問合せること。

9)安全規定

項目	全クラス共通
オイルキャッチタンク	以下の車両はブローパイからオイルを吹くので、オイルキャッチタンクの装着を義務付ける。 1) DA52T/V/W のターボ車、DA62T/V/W のターボ車、車種問わずターボ装完車、ボルトオンターボ装着車 2) ミニキャブトラック・バン・タウンボックス (U61T/V/W、U62T/V/W)、クリップトラック・バン・リオ (U71T/V/W、U72T/V/W)
4点式シートベルト	4点式以上のシートベルトの装着を義務付ける。(お試し走行枠が有る場合、そのクラスの車両は装着不要) ベルトの幅は問わない。(2インチでも3インチでも良い) 固定はボルトを使用すること。タイラップなどでの固定は認めない。
灯火類	ヘッドライト、ウインカー、ブレーキ等の灯火類は、正常に点灯すること。(灯火類の交換、改造は自由。)

10)車両規則 (それぞれのクラスの、改造可能な範囲について)

■エンジン関係 (○:交換、変更、改造、加工、強化、補強、追加 OK、 ×:純正標準品のまま)

項目	①NL	②NT	③NS	④TT ⑥VTT	⑤TS ⑦VTS	⑧OP
エンジン本体 ※1	×	×	○ 車体と同メーカーの軽自動車のエンジンであれば載せ替えOK	○ 車体と同メーカーの軽自動車のエンジンであれば載せ替えOK	○ 車体と同メーカーの軽自動車のエンジンであれば載せ替えOK	同左
排気量	×	×	○ 660cc 以下※2	○ 660cc 以下※2	○ 660cc 以下※2	○ 排気量アップOK
エンジンパーツ(カム、バルブスプリング、ポート加工、ピストン、コンロッド、クランク、ブロック、ガスケット、オイルパン、等々)	×	×	○ 排気量が変わらなければOK	○ 排気量が変わらなければOK	○ 排気量が変わらなければOK	○ 交換自由 排気量がアップしてもよい
スロットル本体	×	×	○	○	○	○
スロットルコントローラ	○	○	○	○	○	○
キャブ(キャブ化)	×	×	○	○	○	○
インジェクター	×	×	○	○	○	○
EUC(エンジンコンピューター)	×	○	○	○	○	○
サブコン	×	○	○	○	○	○
フルコン	×	×	○	○	○	○
点火系	×	○	○	○	○	○
プラグ	○	○	○	○	○	○
過給機(ボルトオン含む)	…	…	…	スタンダードターボ	チューンドターボ	自由

				※3	※4	
ブーストコントロール装置	○	○	○
過給圧	1.0kg/cm ² 以下	制限なし	制限なし
燃料ポンプ	×	×	○	○	○	○
燃料タンク	×	×	○	○	○	○
エンジンマウント本体	×	○	○	○	○	○
エンジンマウント位置	×	×	○	○	○	○

※1 軽自動車以外のエンジンを搭載した車両はどのクラスにも参加できない

※2 元の排気量が 550cc の車は 550cc 以下であること。

※3 そのエンジンに付いている純正ターボ(エブリイのエンジンならエブリイの純正ターボ)またはターボキットに付属の標準品のターボ。S/Cはプーリーの交換は自由だが規定の過給圧を守ること。

※4 上記※3よりも大きな純正流用ターボやアフターの大型ターボ。上記※3を加工してセンターハウジング等を拡大して風量アップしたものも含む。

■冷却系 (○:交換、変更、改造、加工、強化、補強、追加 OK、 ×:純正標準品のまま)

項目	①NL	②NT	③NS	④TT ⑥VTT	⑤TS ⑦VTS	⑧OP
ラジエター、ファン、ホース類、 シュラウド、導風板	○	○	○	○	○	○
サーモスタット	○	○	○	○	○	○
オイルクーラー	○	○	○	○	○	○

■駆動系 (○:交換、変更、改造、加工、強化、補強、追加、取外し OK、 ×:純正標準品のまま)

項目	①NL	②NT	③NS	④TT ⑥VTT	⑤TS ⑦VTS	⑧OP
ミッション(本体、ギヤ比)	×	×	○	○	○	○
ファイナル	×	○	○	○	○	○

LSD(純正品オプション含む)	×	○	○	○	○	○
溶接デフ	×	○	○	○	○	○
ミッションマウント本体	×	○	○	○	○	○
ミッションマウント位置	×	○	○	○	○	○
クラッチ	×	○	○	○	○	○
フライホイール	×	○	○	○	○	○
ドラシャ、ペラシャ	×	○	○	○	○	○

■排気系 (○:交換、変更、改造、加工、強化、補強、追加 OK、 ×:純正標準品のまま)

項目	①NL	②NT	③NS	④TT ⑥VTT	⑤TS ⑦VTS	⑧OP
マフラー ※1 ※2	○	○	○	○	○	○
フロントパイプ	×	○	○	○	○	○
EXマニ	×	○	○	○	○	○
触媒 ※3	×	○	○	○	○	○

※1 各サーキットの基準音量を越えると走行中止を言い渡されることがあるので注意すること。

※2 マフラーは途中でカットしたり、途中で取り外すことは禁止され、触媒位置から1m以上の長さが有ること。

※3 ○印のクラスはサーキット走行時に触媒を外して走行してもよいが、公道走行時は道路運送車両法を遵守するよう注意すること。

■吸気系 (○:交換、変更、改造、加工、強化、補強、追加 OK、 ×:純正標準品のまま)

項目	①NL	②NT	③NS	④TT ⑥VTT	⑤TS ⑦VTS	⑧OP
エアクリーナー(BOX、フィルタ)	○	○	○	○	○	○
その他吸気系パーツ	×	○	○	○	○	○

■サスペンション (○:交換、変更、改造、加工、強化、補強、追加 OK、×:純正標準品のまま)

項目	①NL	②NT	③NS	④TT ⑥VTT	⑤TS ⑦VTS	⑧OP
ショック、スプリング、アッパーマウント、シャックル、ハブボルト	○	○	○	○	○	○
スタビライザー	○	○	○	○	○	○
アーム、メンバー、アクスル	×	○	○	○	○	○
ブッシュ(硬度強化)	×	○	○	○	○	○
ブッシュ(ピロ化)	×	×	○	○	○	○
トラクションダンパー類	○	○	○	○	○	○

■ブレーキ (○:交換、変更、改造、加工、強化、補強、追加 OK、×:純正標準品のまま)

項目	①NL	②NT	③NS	④TT ⑥VTT	⑤TS ⑦VTS	⑧OP
パッド、シュー、ブレーキホース	○	○	○	○	○	○
その他ブレーキパーツ	×	○	○	○	○	○

■補強 (○:交換、変更、改造、加工、強化、補強、追加 OK、×:純正標準品のまま)

項目	①NL	②NT	③NS	④TT ⑥VTT	⑤TS ⑦VTS	⑧OP
補強パーツ(ボルトオン)	○	○	○	○	○	○
補強パーツ(溶接止め)	×	×	○	○	○	○

■外装 (○:交換、変更、改造、加工、強化、補強、追加 OK、×:純正標準品のまま)

項目	①NL	②NT	③NS	④TT ⑥VTT	⑤TS ⑦VTS	⑧OP
外装パーツ	○	○	○	○	○	○
オーバーフェンダー ※1	×	○	○	○	○	○
荷台本体 ※2	×	×	×	×	×	○
荷台あおり(バタ板)取外し※3	×	○	○	○	○	○
フロントガラス ※4	×	×	×	×	×	×
ドア本体、ドア・背面ガラス	×	×	○	○	○	○

※1 NLクラスはオーバーフェンダーの装着が禁止されるが、10mm 以内のラバーフェンダーの装着は認められる。タイヤ&ホイールは(ラバー)フェンダーからはみ出してはならない。

NL以外のクラスはオーバーフェンダーの装着が認められる。サーキットでタイヤを交換するのであればタイヤが(オーバー)フェンダーからはみ出すことは容認される。(サーキット往復時に一般公道を走行する場合はタイヤがはみ出さないよう注意すること)。後述の「タイヤ外側～外側間の寸法規定」は守らなければならない。

※2 部品取り付けのための穴あけ加工はOK。荷台本体の取外しは禁止。(OPクラスのみ取外しOK)

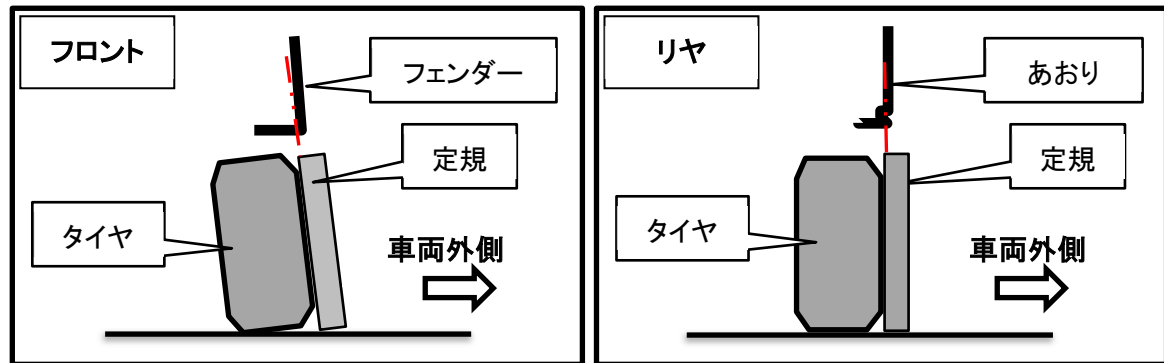
※3 NL クラスは、走行時に荷台あおり(バタ板)を付けたまま走行すること。あおり本体の軽量化加工はOKだが、あおりとしての機能が残っていること。

※4 アクリルやポリカといった樹脂素材への変更は禁止。純正相当品のガラス素材の社外品への交換装着は問題ない。

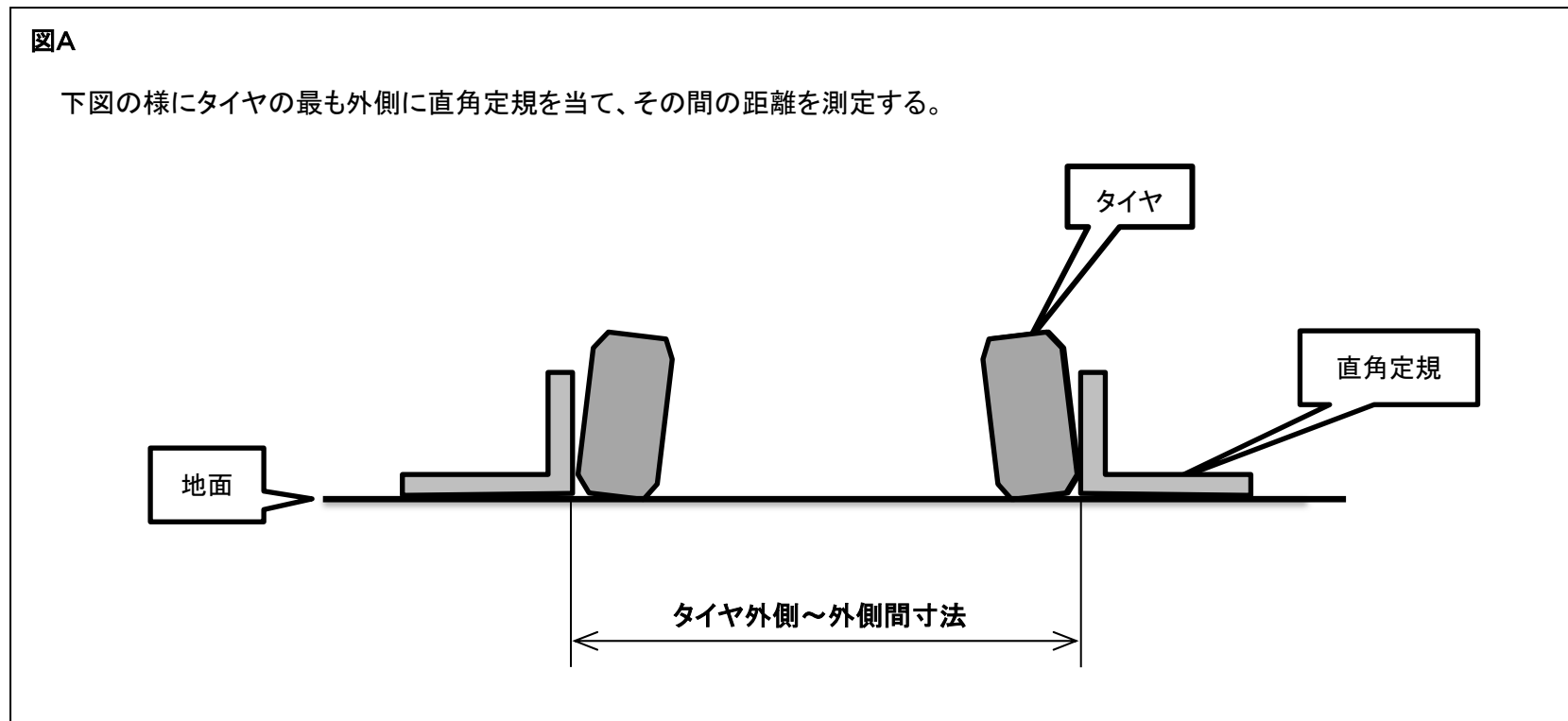
■タイヤ、ホイール (○:交換、変更、改造、加工、強化、補強、追加 OK、×:純正標準品のまま)

項目	①NL	②NT	③NS	④TT ⑥VTT	⑤TS ⑦VTS	⑧OP
タイヤ	・使用できるタイヤ銘柄については、前述の一般規則を参照。 ・タイヤサイズは自由だが、次項の「タイヤ外側～外側間の寸法」は守ること。 ・NLクラスは(ラバー)フェンダーからのタイヤのはみ出しを禁止する※1。それ以外のクラスは、サーキット走行時のタイヤのはみ出しについては問わないが、公道走行時は道路運送車両法を遵守するよう注意すること。					
タイヤ幅	165 まで	165 まで	175 まで	165 まで	175 まで	自由
タイヤ外側～外側間の寸法 (測り方は図Aを参照)	寸法規定は設け ないが、純正フ ェンダーからタイ ヤがはみ出さな いこと。 ※1	【旧規格車】 F:1490mm R:1420mm 【新規格車】 F:1570mm R:1500mm	【旧規格車】 F:1550mm R:1530mm 【新規格車】 F:1630mm R:1610mm	【旧規格車】 F:1550mm R:1530mm 【新規格車】 F:1630mm R:1610mm	【旧規格車】 F:1550mm R:1530mm 【新規格車】 F:1630mm R:1610mm	自由

※1 はみ出しの判定は右図の様にタイヤ又はホイールの最も外になる面の延長線が、フェンダーまたはあおりの下部よりも内側に入っているかどうかで判断する。
(タイヤ又はホイールの最外部に垂直に定規を当てた時、定規の上部がフェンダー内、またはあおりよりも内側に入っていればOKと見なす。タイヤ又はホイールの地面側はフェンダーより外側でもOK。)



タイヤ外側～外側間の寸法の測り方



項目	①NL	②NT	③NS	④TT ⑥VTT	⑤TS ⑦VTS	⑧OP
ホイール	・ホイールはサイズも含めて自由とするが、前項の「タイヤ外側～外側間の寸法」は守ること。 ・NLクラスははみ出しを禁止する※2。それ以外のクラスは、サーキット走行時のホイールのはみ出しについては問わないが、公道走行時は道路運送車両法を遵守するよう注意すること。					
ホイールナット	○	○	○	○	○	○
スペーサー ※1	○	○	○	○	○	○

※1 5mm以上厚いものを入れる場合は、ロングハブボルトに変換するなどして、ボルトの掛かり代を確保するように努めること。

■内装（○：交換、変更、改造、加工、強化、補強、追加、取外しOK、×：純正標準品のまま）

項目	①NL	②NT	③NS	④TT ⑥VTT	⑤TS ⑦VTS	⑧OP
シート	○	○	○	○	○	○
ドアトリム、ダッシュボード ※1	×	○	○	○	○	○
その他内装品	○	○	○	○	○	○
エアコン・ヒーター	○	○	○	○	○	○

※1 ドアトリムとダッシュボードを外す場合は、金属部をハードスポンジや樹脂板等で覆い、万一のクラッシュ時に負傷をしないような対策をとること。

■電子パーツ、追加メーター（○：交換、変更、改造、加工、強化、補強、追加OK、×：純正標準品のまま）

項目	①NL	②NT	③NS	④TT ⑥VTT	⑤TS ⑦VTS	⑧OP
追加メーター	○	○	○	○	○	○
スロットルコントローラ	○	○	○	○	○	○
その他、エンジンの燃料、点火 に関係の無い電装パーツ ※1	○	○	○	○	○	○

※1 サブコンなど、エンジンコンピューター関係する機器はエンジンの項目に掲載してある。

■その他

・改造を加えずに調整出来るもの（トーイン、車高調の車高、ショックの減衰ダイヤル、調整式ピロアッパーのキャンバー角、空気圧 等々）については、調整は自由である。

・オイル、フルード、LLC等の液体類は自由。

【問い合わせ先／申込先】

株式会社GT CARプロデュース

〒438-0086 静岡県磐田市見付 1684-23

TEL :0538-37-6677 FAX :0538-37-6678